

## 国東市の移住者を「受け入れる・呼び込む」ための主な取り組み

空き家対策や住宅購入補助、創業支援などの移住者を支援する事業は、これまでにご紹介してきましたので、今回は受け入れや呼び込むための主な取り組みをご紹介します。

### こねぎトレーニングファームへの受け入れ

平成26年4月から、市外の方に安定した収入を得ることのできる大分県特産の「こねぎ(味一ねぎ)」の栽培に就いてもらう目的で、新規就農者のこねぎ栽培研究施設を開設しました。4月から翌年の3月までの1年間、国東市農業公社が実施主体となり、公社の管理している研修施設で、実地研修や座学研修を実施しています。

研修卒業生は、国東市農業公社のリースハウスにおいて、概ね50アールのハウスで栽培を開始しています。

平成26年度 4名卒業(北海道1名、静岡県1名、大分市2名)

平成27年度 3名卒業(京都府1名、福岡県2名)

平成28年度 3名卒業(鹿児島県1名、大分市1名、Uターン1名)



### 地域おこし協力隊の受け入れ

地域おこし協力隊は、総務省が平成21年度から始めた制度で、大都市圏から過疎地域に生活拠点を移して地域おこし活動をしなが、定住を図る取り組みとなっています。国東市でも平成25年度からこの制度を活用して、空き家バンクの登録や移住者のおもてなし、オイスターやオリーブなどの特産品の啓発などで活躍しています。

平成25年度 2名(埼玉県、愛知県)

平成26年度 2名(東京都)

平成27年度 4名(Uターン1名、新潟県1名、埼玉県1名、福岡県1名)

平成28年度 8名(東京都2名、三重県1名、静岡県1名、神奈川県2名、福岡県2名)



### 就労現役世代の移住者を呼び込むための取り組み

#### 2 シングルマザー向け移住・定住説明会

今年度、新設したシングルペアレント助成制度を広く周知するため、9月3日に東京都でシングルマザー向け移住・定住説明会を開催しました。参加された方で、興味を持った親子が11月5日に現地視察に訪れました。その後、国東市に移住することが決まりました。



#### 4 家族世帯向け移住・定住説明会

移住後もそれぞれ芸術活動をしているご夫婦と、そのご夫婦をお世話した先輩を交え、10月29日に東京都で家族向け説明会を開催しました。



#### 1 福岡で合同就職説明会

8月27日、市内5企業が合同で新卒者等を対象にした就職説明会を開催しました。会場には、45名の方が集まりました。



#### 3 クリエイター向け移住・定住説明会

国東市に移住して芸術活動や創造的な活動をしている方達を講師に、10月19日に東京都でクリエイター向け移住・定住説明会を開催しました。



## 移住を希望する人にとって もっと魅力的な国東市になるために

全国の地方自治体のほとんどが、人口減少問題に苦しんでいます。そのような中、人口減少に歯止めをかけようと、人を呼び込む政策に積極的に取り組んでいます。特に、都市部から田舎に移り住もうと考えている人(以下「移住希望者」)は増加傾向にあり、どの自治体にとってもぜひ呼び込みたい対象となっており、移住希望者をめぐる自治体間での競争が、現在激しく行われています。

## 国東市の現状

### 国東市に移住して来た人の実績

過去5年間で移住して来た人			移住後体調や諸事情で国東市を離れていった人		
国見	29世帯	55名	内 8世帯	13名	転出
国東	33世帯	71名	内 4世帯	5名	転出
武蔵	11世帯	41名	内 1世帯	2名	転出
安岐	23世帯	48名	内 5世帯	8名	転出
合計	96世帯	215名	内 18世帯	28名	転出

※空き家バンク制度利用者のみ

### 96世帯の移住前の住所

【九州地方】  
大分県35世帯、福岡県16世帯、熊本県3世帯、宮崎県1世帯、鹿児島県1世帯、沖縄県1世帯

【中国・四国・関西地方】  
山口県3世帯、広島県1世帯、香川県1世帯、兵庫県2世帯、大阪府7世帯、奈良県1世帯、和歌山県1世帯

【関東・東海地方】  
愛知県2世帯、山梨県1世帯、長野県1世帯、神奈川県5世帯、東京都3世帯、埼玉県2世帯、栃木県2世帯、千葉県3世帯

【その他の地域】  
新潟県1世帯、北海道1世帯

### 移住希望者を受け入れる体制

◎移住希望者の多くが利用する空き家バンクの状況



◎空き家利用登録数の推移

